

平成 28 年度 長期学校体験実習 報告（2 年次 後期開講）

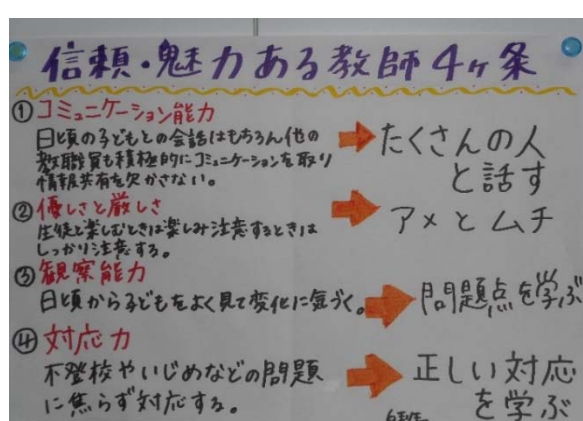
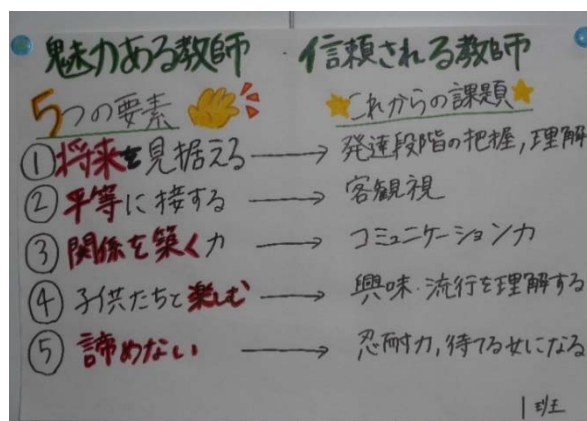
平成 28 年度の長期学校体験実習は、9 月 2 日（金）の事前指導における自転車交通安全防犯教室に始まり、9 月 27 日（火）～10 月 21 日（金）（1 期）、中間指導を挟んで、11 月 1 日（火）～11 月 25 日（金）（2 期）、12 月 2 日（金）の実習報告会まで 3 か月間にわたり実施しました。

配置校は、坂戸市及び鶴ヶ島市内の全小・中学校 32 校、埼玉県立鴻巣女子高等学校の計 33 校にお世話になりました。以下、学生の様子を報告いたします。

自転車交通安全防犯教室

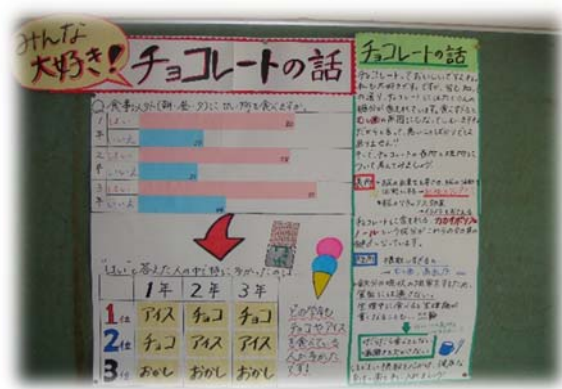
西入間警察署よりご指導いただきました。ご講義では交通ルールについてご指導いただき、実際に自転車の乗車体験を行いました。

実習校への交通手段が自転車の学生もいることから、児童生徒も学んでいる交通安全のルールやマナー、不審者等への対応を含めた防犯意識の向上を目的に実施しています。



中間指導では、「魅力ある教師」「信頼される教師」について、1 期の実習経験をふまえてグループで協議し、発表することで言語化できるようにします。さらに 2 期の実習目標をたて、どのように目標を達成するのか、具体的な手立てを考えます。

平成 28 年度 長期学校体験実習 各学校での様子



長期学校体験実習を振り返って

学生実行委員長 2年 ■ ■ ■ ■

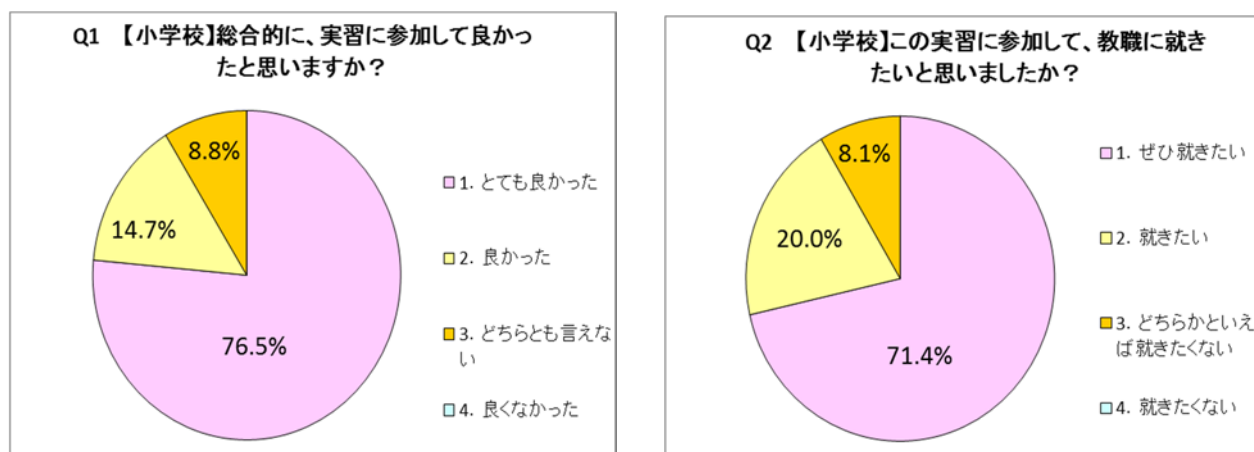
私たち2年生56名は、坂戸市及び鶴ヶ島市の小学校・中学校全32校、さらに埼玉県立鴻巣女子高等学校に長期学校体験実習に行かせていただきました。

私たちは実習に出向くにあたり入念な準備をしてみました。安全に実習校に通うことができるよう、自転車交通安全教室を実行委員主導で実施しました。児童生徒のお手本となる自転車の乗り方をご指導いただき、自分の身を守るだけでなく実習生としての自覚をもつ要因となりました。また、実習先に打ち合わせに出向いたり、より良い挨拶・自己紹介を実践するために、挨拶練習をロールプレイにより行ったりしました。このような準備により、安全に実習先に出向くことができ、緊張し頭が真っ白になりながらも挨拶をすることができました。準備の大切さを実感いたしました。

長期学校体験実習では、実際に児童生徒と過ごしたことで、考え方や行動から実態を知ることができました。また、教職員の皆様の児童生徒と接する様子や、連携している様子を観察させていただいたことで、教職員の役割についても触れることができました。このような学びから養護教諭として児童生徒と関わっていきたい、先生方の一員として共に働きたいという思いがより強くなりました。緊張や不安も含め一人ひとりが大きく成長できたとても充実した実習となったと思います。

終わりに、お忙しい中この実習を快くお引き受けくださり、ご丁寧な温かいご指導をいただきました各学校の校長先生ならびに教職員の皆様、教育委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

平成 28 年度 長期学校体験実習 事後アンケート (抜粋)



平成 28 年度 長期学校体験実習 報告書 (記述原本)

長期学校体験実習報告書 (小学校)			
学籍番号		氏名	
学籍番号		15170	
氏名			
〈実習校の概要〉			
学校名	坂戸市立 小学校		
児童・生徒数	397	学級数	15(くまき・さくら組)
実習期間	9/27 ~ 10/21	指導者名	養護教諭
学校環境(沿革・生徒実態・教育の特徴)	豊かな人間性と実践力のある 心身ともに健康な児童の育成 やさしくかしくたくましく		
実習した内容	授業参観・補助 給食・清掃指導 校外学習引率 就学時健康診断 補助 掲示物作成 など		
1. 実習の自己評価(実習に対して)、課題			
実 習 の 目 的	評 価	理 由	
学校における児童の実態や 教職員の仕事を知る	◎	授業参観や補助、校外学習の引率など 実習を通して、学校の今まで知らなかった 部分や仕組みを色々学べたから。	
児童や教職員間での 関わり方を学ぶ	○	理趣的なコミュニケーションがとれた とはいえ、先生方とお話する 機会も十分にとれなかったから。	
課 題	子供との関わりだけでなく、 教職員や保護者との関わりを大切にする・学ぶ		
2. 実習全体を通しての学びと感想 〔学び〕		〔感想〕	
- 挨拶の大切さ - 報告・連絡・相談『情報共有』の大切さ - 学年、クラスによって変わる児童の実態・発達の違い - 学年、クラスによる発達の違いに合わせたクラス運営・指導方法 - 日頃の教職員間でのコミュニケーションの大切さ - 個人差のある「痛い」という訴えの判断・対応の難しさ		4週間、毎日がとても有意義で、 あっという間に日々が過ぎ去った。 実習を通して、児童・生徒としてしか 見ていなかった学校を、教師という立場から 改めて体験したり様々な観点から 見たりすることで、今まで知らなかった 部分や仕組みがたくさん学べた。 例えば、就学時健康診断の補助を させていただいたことで、おおよその流れ と仕事に分かるだけでなく、多くの先生方が 率先して協力してくださる姿を見て、 養護教諭の先生が日頃からまわりの先生 との関わりを大切にされていることが 分かった。養護教諭でもなかなか体験でき ない貴重な日々を過ごすことができた。	
3. 後輩に伝えたいこと			
- 目的をもって一日一回の実習を大切に挑みましょう。 - 実習できている環境に感謝しましょう。			